

福岡銀行の経営戦略 ~ 中期経営計画『新世紀プラン』 ~

中期経営計画『新世紀プラン』の概要

[期間]平成15年4月～平成18年3月

中期経営計画『新世紀プラン』では、目指す銀行像を「ゆるぎなく発展する先進銀行」とし、「収益(インカム)」「リスク」「コスト・リソース」をバランスよく均衡させながら成長を持続させることを主眼に「拡大均衡の持続」を基本方針として定め、各種戦略・施策を展開してまいります。

また、地域の金融機関としての顧客指向、地域への貢献はもとより、地方銀行の枠組みにとらわれない優良行を目指して成長の方向性やそのスピードといった質・量の両面にわたる発展を実現し、企業としての魅力をさらに高めてまいります。

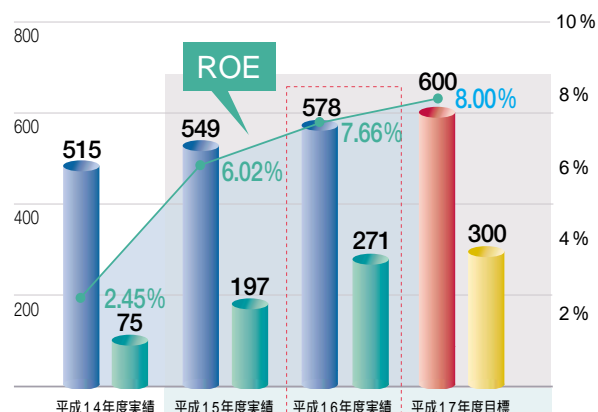
目指す銀行像	基本方針	目標とする経営指標
<p>ゆるぎなく発展する先進銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い収益力の達成 資産内容の健全性確保 高い企業価値の実現 営業・経営管理における先進手法の追求 	<p>拡大均衡の持続</p> <ul style="list-style-type: none"> 収益(インカム) リスク コスト・リソース <p>をバランスよく均衡させながら成長を持続</p>	<p>平成17年度目標</p> <p>収益性指標</p> <p>コア業務純益 600億円、 当期純利益 300億円、 ROE 8.0%</p> <p>健全性指標</p> <p>不良債権比率 3%</p>

中期経営計画『新世紀プラン』の進捗状況

収益性指標

(単位:億円)

■ コア業務純益 ■ 当期純利益 ■ コア業務純益(目標) ■ 当期純利益(目標)

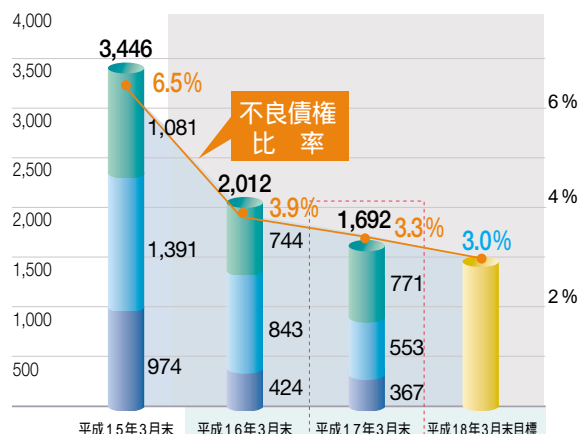


『新世紀プラン』

健全性指標(金融再生法開示債権)

(単位:億円)

■ 破産更生債権等 ■ 危険債権 ■ 要管理債権

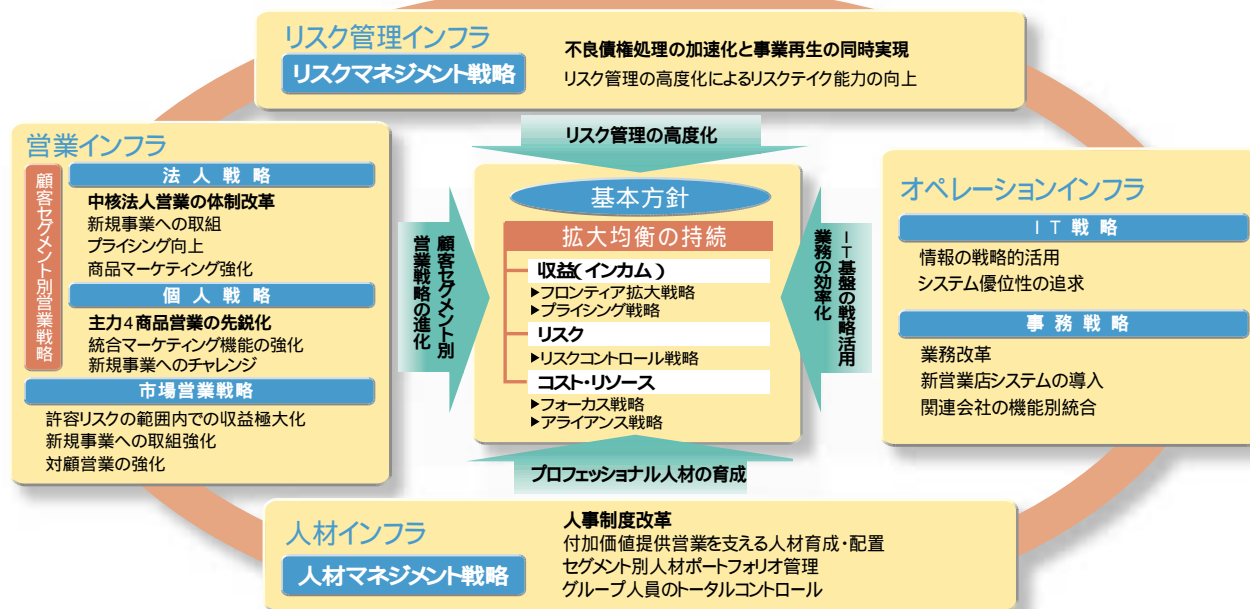


『新世紀プラン』

『新世紀プラン』の施策体系

中期経営計画『新世紀プラン』は、「営業」「リスク管理」「オペレーション」「人材」の各インフラを相互・有機的に結びつけて徹底活用し、『新世紀プラン』の基本方針である「拡大均衡の持続」を実現します。

最終年度である平成17年度は、各種施策を着実に実施するとともに、総仕上げとして更に高いレベルの成長を追求します。



顧客セグメント別営業戦略

法人営業 営業店と本部が連携して、先進的な金融手法や不良債権処理の過程で培ったノウハウを活用した高度なソリューション営業（付加価値提供型営業、問題解決型営業）を積極的に展開してまいります。

個人営業 「資産運用商品」「住宅ローン」「消費性ローン」「アレコレカード」を主力4商品とし、多様なチャネルの活用や相談営業力の強化により、お客さまのニーズに応じた付加価値の高い商品・サービスを提供してまいります。

リスクマネジメント戦略

不良債権処理の進展に伴い、事業再生・健全化支援の専担部署（事業金融部）の機能を昨年10月に新設した融資審議室に移し、格付下方遷移防止の強化に取り組んでおります。また、引き続きサービス「ふくおか債権回収株式会社」や地域再生ファンド等と協力のうえ、事業再生と不良債権処理の同時実現を進めてまいります。さらに信用リスク管理高度化の取り組みとして、新たな格付・審査スコアリングモデルを導入すること等によりリスクマネジメントの強化とリスクテイク能力の向上を図ってまいります。

IT戦略

「広島銀行との共同化システム」を最大限に活用し、各種システムの開発とコストコントロールにより、システム優位性の維持・拡大に取り組めます。また、これまで構築してきたIT基盤を徹底活用し、情報の戦略的活用や業務の効率化に繋げ、さらに競争力を強化してまいります。

事務戦略

内部事務効率化や個人ローン事務の集約化を中心とした業務改革、新営業店システムの導入等を進め、事務品質と生産性の更なる向上を図ります。

人材マネジメント戦略

経営環境の変化に沿った、競争力ある組織・人材づくりに向け、納得性の高い人材育成・評価・処遇を実現してまいります。同時にセグメント別人材ポートフォリオ管理を進めながら、戦力強化と併せ戦略的な人員配置にも努めてまいります。